

不適切な画像や動画が 広まってしまったら・・・

TwitterやInstagram、LINEのグループチャットなどに不適切な性的な画像が出回ってしまう「自画撮り被害」「児童ポルノ被害」が増えています。このような被害は、大きく分けて、子どもがインターネットで知り合った人に画像を送ってしまうケースと、身近な恋人や友達に送ってしまうケースがあります。今回は後者のケース、もし、子どもが性的な画像を学校の誰かに送ってしまったら、他の子どもたちの間で不適切な画像が広まってしまったらどうすればいいかを考えてみましょう。



どのように拡散を防ぐか

最も避けなければならないのは、画像が子どもたちの間だけではなく、SNSや掲示板など外部のインターネット上に拡散してしまうことです。一度でも外部に広まってしまうと、全てを回収することはほぼ不可能です。従って、子どもたちの間でのみ、画像が行き来している段階で、画像の拡散を防止する必要があります。

保護者の方が「誰かに不適切な画像を送ってしまった」という相談を子どもから受けた場合、すべきことは学校と警察への相談です。拡散した画像を削除するために、他の子どもたちのスマートフォンやパソコンを確認する必要がありますが、そのような場合には、警察のような機関の協力が必要です。画像の拡散を防ぐためにも速やかに相談するようにしましょう。

加害者になってしまうことの危険性

子どもが「画像を送ってしまった側」ではなく、「画像を受け取った側」だった場合、絶対にそれを他の人に広めないように指導してください。児童ポルノは、作成した本人でなくても、その画像を別のところに公開したり、端末に保存しただけで罪に問われる可能性があります。もし、そのような画像が出回っているのを見たり聞いたりした場合は、すぐに信頼できる大人に相談するように日ごろから伝えておきましょう。



御家庭での対応

画像の拡散を防ぐことも大切ですが、そもそもインターネット上でそのような画像のやりとりがなくなることが重要です。子どもには日頃から、人に見られて困るような画像はどんな理由があっても撮影しない、他の人に送らない、要求しない、ということを繰り返し伝えてください。撮影するだけで送らなければ安全（端末に保存しておくだけであれば安全）と思っている子どももいますが、端末に保存されているデータは常に流出のリスクがあります。性的な画像の話はしづらいという御家庭も多いと思いますが、この「自画撮り被害」「児童ポルノ被害」というものは、子どもたちの人生に非常に大きな悪影響を与えるものなので、必ず話し合いの機会を設けてください。